

戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R2.10.27
記録者	芹澤

日時	令和2年10月27日 13:00~15:30	出席者	染川、武長、野口、伊藤、佐貫、 芹澤、宮下（由）
場所	戸田市東部福祉センター2F		

議題

会長報告
副会長・委員会報告
各理事・委員会報告

会議内容

染川会長報告

●第7次埼玉県地域保健医療計画の南部保健医療圏実績と次年度の計画を提出。

この中で「備蓄に対するルール作り」について野口副会長が質問。そして「新型コロナの第一波の時も地域住民に対し供給できなかった」という芹澤事理の意見を踏まえ、染川会長、野口副会長も薬局の機能を果たしていくべきであるし、それが薬剤師会として意義のあるものだとの見解を示した。また、その話題から派生して、「災害時やパンデミック時の医薬品の供給について」も継続して委員会で話を進めていかなければならない、とした。

●「難病対策地域協議会」委員を時期より伊藤理事が務めることを全会一致で承認。

●注射針の回収事業も含め、9/25（金）戸田市役所長寿介護課を訪れ、意見交換を行った。

行政側からは第7次医療保険計画の進捗と第8次医療保険計画についての説明、総合事業など高齢者施策の説明などがあった。薬剤師会側として、「注射針の回収」「ケアカフェ、サロンの拠点」「認知症対応インフラとしての薬局利用」など市民にとって有益な活動の例をあげ、あくまで自分たちがやりたいこと、できること、ではなくためになる活動を行っていきたい、との姿勢を示した。行政側からも「地域貢献活動って要件にありますよね」と具体的にこちら側の診療報酬上の加算要件に言及し、一定の理解を示して頂いた。しかし、予算を付けるとなると話は一気に難易度を増すので、今後も不定期に情報交換を行うことで両者一致した。

現在議論している注射針の回収事業の想定スキームとしては

会員薬局ごとに業者と契約

↓

業者が回収、会員薬局が支払い

↓

薬剤師会に補助申請

↓

料金の一部補助金を支給

(問題点としては)

- ・薬剤師会がどの程度負担できるのか。
- ・行政の補助はクレジットだけなのか、予算が付くのか。
- ・かかりつけ薬剤師の要件を満たすのか（広報に載る、載らないも含め）。
- ・そもそも論として需要があるのか？医師会の先生方の反応。
- ・一度始めたら安易にやめられない。

(撤退条件)

- ★かかりつけ薬剤師の要件を満たさない。
- ★広報に載らない(公共性を担保できない)

以上を踏まえ継続審議とする。

武長副会長

<学校薬剤師委員会>

- 新規募集を行い、かみとた薬局の原田先生が立候補。ほかには2店舗目ではあるがハロー薬局斎藤先生が立候補して下さった。
- 市で浮遊粉塵計を購入。個人に貸し出しできるとのこと。希望者は直接市の教育委員会窓口連絡。
- ダニの検査が季節を外していると委員会で問題になり、来年度より7月中の実施へと変更される見通しとのこと。
- 幼稚園、高校の学校薬剤師の扱いについて、再度見直しの時期に来ているのではないかとの芹澤理事の意見に対し、野口副会長より「現在担当している薬剤師が会員でない以上市から委嘱されている小中学校と話がちがう。器具等の負担などもあれば会員への説明責任が果たせない。検査機器を購入し、会員と会員外で利用料金を分けるなどの考え方はあると思うが、どのくらい需要があってどのくらいでペイできるのかわからなければシュミレーションもできない。」との意見有。この意見に対する役員からの反論もなく、この件に関しては今まで通り学校薬剤師委員会は委嘱されている小中学校のみを対象にすることになった。
- 来年3月末までは休日夜間診療所は蕨のみ。

野口副会長

- 地域連携室の矢作様、戸田中央リハビリ病院の倉林様が第2回連携ネットCaféを開催します。11/6金曜日13:00~14:00フレイルやコロナ禍の外出制限による健康への影響についてなどざっくばらんに話をするオンラインカフェです。

伊藤理事

<学術研修委員会>

- Web研修会を企画しようか検討している。

<保健委員会>

- メールにて会員に流した内容ですが、戸田中央HPの抗がん剤のレジメンシールをおくすり手帳に貼付する件について、実際貼付している事例を経験。

佐貫理事

<薬学性実務実習委員会>

- 来年度の実習生振分け中。
- 指導薬剤師について、コスモ調剤薬局の鎌田先生がワークショップに登録している。以前にも言ったように指導薬剤師の在籍薬局数を増やす目的で、複数の指導薬剤師がいる薬局より新規の薬局の薬剤師優先でリストに載せる。
- 第一薬局駅前店指導薬剤師の移動に伴い、本町薬局三島木先生にふりかえ。

芹澤理事

<総務委員会>

- 緊急連絡網の更新

決定事項

- 第7次埼玉県地域保険医療計画に沿った薬剤師会活動。
- 従来通り学校薬剤師の取り扱いを小中学校とし、幼稚園、高校は個別対応。

検討事項

- 会営薬局の開設
- 災害、パンデミックに対する備蓄用品のルール作り。
- 注射針回収事業
- 戸田市、地域に貢献する活動
- 薬薬連携の深化
- Web 講演会